



## 特集4

### NPO法人設立の経緯

2008年8月にお遍路マップの作成、清掃活動、学生の視点で情報発信するフリーペーパーの発行など「まちづくり」をテーマに活動していた有志が集まり、社会参加や自己の発見の場として継続的に活動が出来るようにとNPO法人Museを設立しました。

Museは「Matsuyama University Students Empowerment」の頭文字をとり学生も権限を持って社会参加をしようという意味があります。また、松山大学認可のNPO法人として大学と地域を結ぶお手伝いをしています。

### 活動内容

現在、卒業生も含め約80名の会員が所属しています。具体的な活動としては、大きく4つに分かれています。まず、ラジオ番

## 学生のかでまちづくり

組の企画・制作をするメディア事業部。今年には南海放送とFM愛媛の番組を制作しており、学生自ら企画の段階から手がけています。

つぎに、坂の上の雲ミュージアムから発行している『まちづくり!!まつやま新聞』の企画・取材・編集・制作を担当するまちづくり新聞制作事業部があります。

学生の視点で地元松山の魅力を発掘し発信しています。大学の周辺やイベント時の清掃活動、ペットボトルのキヤップを回収し発展途上国の子どもの達のワクチンを届ける活動などを行うエコ事業部。お遍路マップの制作や、地域のイベントの開催・協力などの活動を行う地域活性化事業部もあり、メンバーそ



NPO 法人  
松山大学学生地域創造研究所 Muse  
事務局長

成松 亜矢子



イベント終了時に達成感に包まれながら  
みんなで撮った集合写真

ationの  
の分別作業の様子





## 地域づくりに取り組む NPO法人



地域との連携イベントで  
ペットボトルタワーを完成させた



子ども達との農業体験風景



郷土の偉人展での活動

れぞれが興味関心のある事業に関わり仲間と共に切磋琢磨しながら活動をしております。

昨年度より、子ども達の豊かな人間性や社会性を育むために松山市教育委員会が実施している農業体験事業『ぼんぼこ村』の支援も始めました。企業と連携して商品開発などをすることも増えてきました。

このように様々な活動を通して、多くのことを経験することができま。松山大学の校訓『三実主義』の中の実用の精神は、用に対するまことであり、真理を生活の中に生かし社会に奉仕する積極進取の実践的態度であると言われています。その精神を在学中から身につけ自己表現の機会を共有す

ることで地域貢献のお手伝いができればという思いで活動しています。

### 活動する上で抱える課題

一番の課題は、卒業に伴い主要メンバーが毎年入れ替わることです。またNPO法人の活動だけでなく学業、アルバイトをしているため学生は社会人が考えているより時間がとれません。打ち合わせをするときも、それぞれが違う講座を受講しているため、時間の調整が難しく昼休みのみの打ち合わせになることもあります。

また、テスト期間中や学生が帰省する長期休暇など時期によっては、人手不足という事態が起こることもあります。事業の取捨選択、年間のスケジュールの全体把握、事業の引継ぎのスムーズ化など今後解決すべき課題も多くあります。

### 今後の展望

活動を通して大学と地域との架け橋となり、大学生の活躍の場を広げることにより地域貢献が出来ればと考えております。

また、メンバー各々が主体性をもち、自己の発見や自己の可能性を見つけることができる環境を整え、学生からの企画提案により、事業が運営できるようにしなければならぬの企画で、地域を盛り上げていきたいです。